

■ 入浴関連事故の現状～消費者庁ニュースリリース～

- 浴室での溺死者数は11年間で約7割増加
- 入浴中の急死者数は約19,000人



消費者庁

Consumer Affairs Agency, Government of Japan

News Release

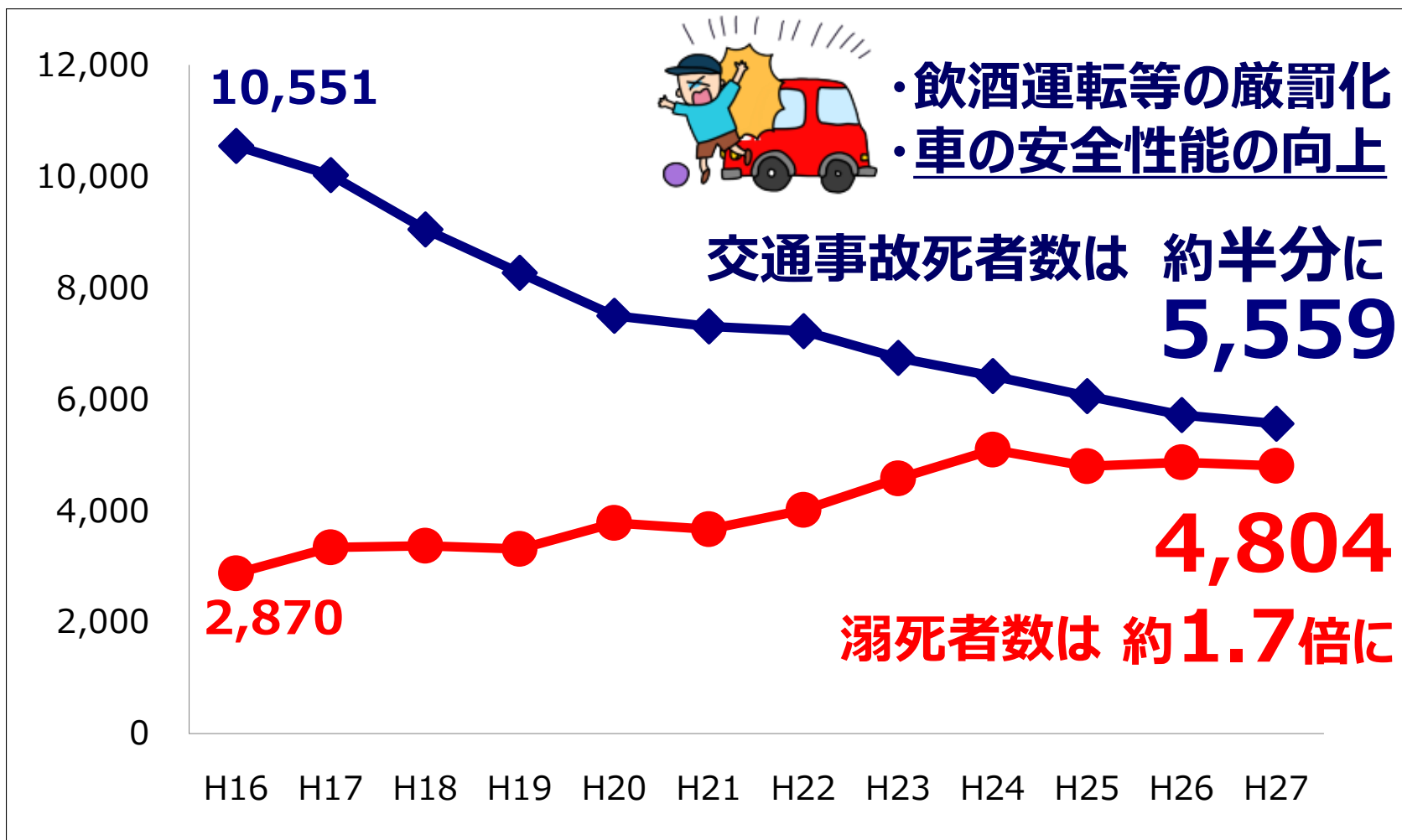
平成 29 年 1 月 25 日

冬季に多発する高齢者の入浴中の事故に御注意ください！

人口動態統計を分析したところ、家庭の浴槽での溺死者数は11年間で約7割増加し、平成27年に4,804人となっています。そのうち高齢者（65歳以上）が約9割を占めており、高齢者は特に注意が必要です。溺死を含む入浴中の事故死は、東京都23区では平成26年に1,442件あり、冬季に多く発生している傾向がみられます。過去には入浴中の急死者数は約19,000人と推計されたこともあります。

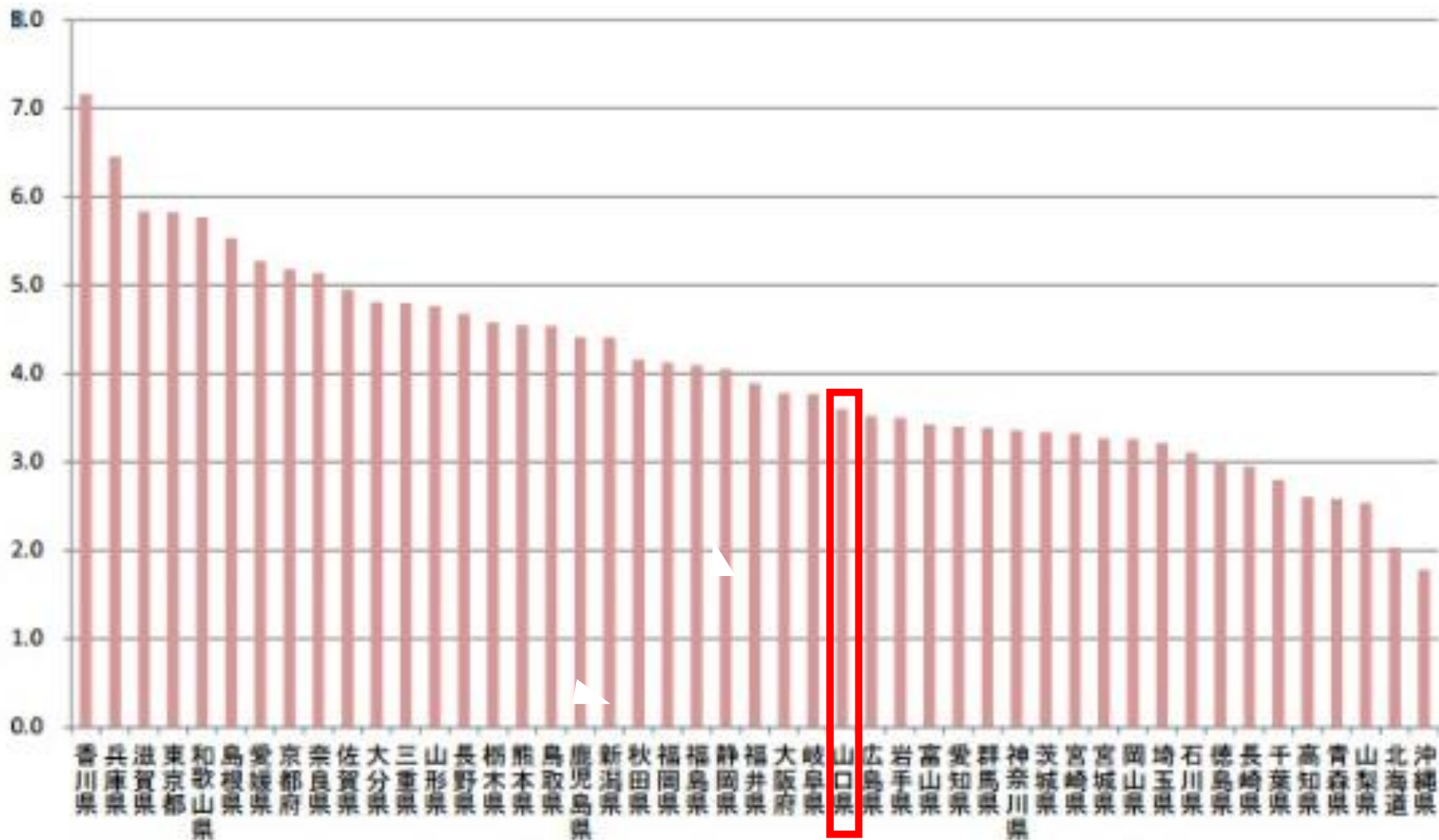
■ 家庭の浴槽での溺死者数の推移

～交通事故死者数との比較～



出典：厚生労働省 人口動態調査

■ヒートショック件数～都道府県別～

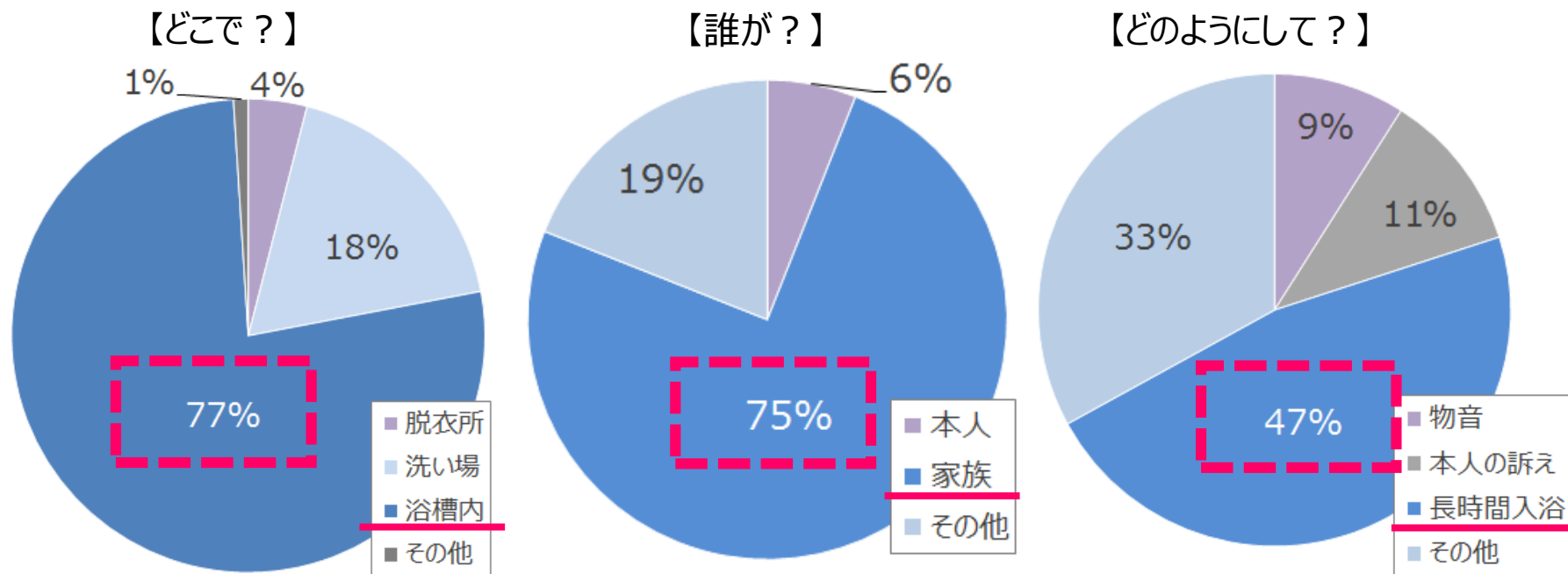


都道府県別に見た高齢者1万人あたりCPA件数(件)

都道府県別ランキング：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 報道発表資料より

■ 入浴事故について・・・発生場所と発見までのプロセス

- ・入浴事故の約**80%**は「**浴槽内**」で起こっています。
- ・浴槽内の事故の発見は「**家族**」が多く、「**長時間経過**」により気づくことが多い。



〈出典：入浴事故防止対策調査研究委員会『平成12年度調査研究報告書』東京救急協会，平成13年3月〉

■ 入浴事故について・・・主な要因

入浴事故の主な原因は「**高温入浴**」「**長時間入浴**」「**気づきの遅れ**」。

ヒートショック

【要因】

高温入浴：急激な温度変化*

血圧上昇⇒心臓への負担

のぼせ

【要因】

長時間の入浴：温度感覚の鈍り

血圧低下⇒意識障害

気づき

同居家族の気づきの遅れ

入浴事故

■ 見まもり機能

プレミアム

スタンダード

3つの主要因に3つの機能で、入浴事故に対策します！

ヒートショック

ゆるやか浴機能

- ① -2℃でお湯はり
- ② 入浴を検知して設定温度までたきあげ

のぼせ

自動入浴タイマー機能

- ① 入浴を検知
- ② 入浴時間をリモコンに表示
- ③ 5分経過でお知らせ音

気づき

浴室モニター機能

- ① 入室を検知⇒台所リモコン、白ランプ点灯
- ② 入浴を検知⇒台所リモコン、オレンジランプ点灯
+入浴時間表示

入浴事故



■ 消費者庁 News Release (平成29年1月25日)



News Release

平成29年1月25日

冬季に多発する高齢者の入浴中の事故に御注意ください！

人口動態統計を分析したところ、家庭の浴槽での溺死者数は11年間で約7割増加し、平成27年に4,804人となっています。そのうち高齢者(65歳以上)が約9割を占めており、高齢者は特に注意が必要です。溺死を含む入浴中の事故死は、東京都23区では平成26年に1,442件あり、冬季に多く発生している傾向がみられます。過去には入浴中の急死者数は約19,000人と推計されたこともあります。

安全に入浴するために、以下の点に注意しましょう。

- (1) 入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。
- (2) 湯温は41度以下、湯に漬かる時間は10分までを目安にしましょう。
- (3) 浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。
- (4) アルコールが抜けるまで、また、食後すぐの入浴は控えましょう。
- (5) 精神安定剤、睡眠薬などの服用後入浴は危険ですので注意しましょう。
- (6) 入浴する前に同居者に一声掛け、同居者は、いつもより入浴時間が長いときには入浴者に声掛けをしましょう。

- (2) 湯温は**41度以下**、湯に漬かる時間は**10分**までを目安にしましょう。
- (6) 入浴する前に同居者に一声掛け、同居者は、いつもより入浴時間が長いときには入浴者に声掛けをしましょう。